

新たな型と思われる α 溶血性レンサ球菌に関する調査結果（令和7年度）
【令和7年度における発生状況】

令和7年4月

魚種	報告件数
シマアジ	1
スギ	1

5月

魚種	報告件数
シマアジ	3

新たな型と思われる α 溶血性レンサ球菌に関する調査結果（令和6年度）
【令和6年度における発生状況】

令和6年4月

魚種	報告件数
シマアジ	5
ヒラメ	1

5月

魚種	報告件数
シマアジ	6

6月

魚種	報告件数
ブリ	1
カンパチ	1
シマアジ	20

7月

魚種	報告件数
ブリ	1
カンパチ	1
シマアジ	28

8月

魚種	報告件数
ブリ	3
カンパチ	1
シマアジ	25
マアジ	2

9月

魚種	報告件数
ブリ	2
カンパチ	1
シマアジ	52
マアジ	1

10月

魚種	報告件数
ブリ	2
カンパチ	1
シマアジ	39

11月

魚種	報告件数
シマアジ	60

12月

魚種	報告件数
シマアジ	23
スギ	1

令和7年1月

魚種	報告件数
シマアジ	3
ウマヅラハギ	1
スギ	1

2月

魚種	報告件数
シマアジ	1

3月

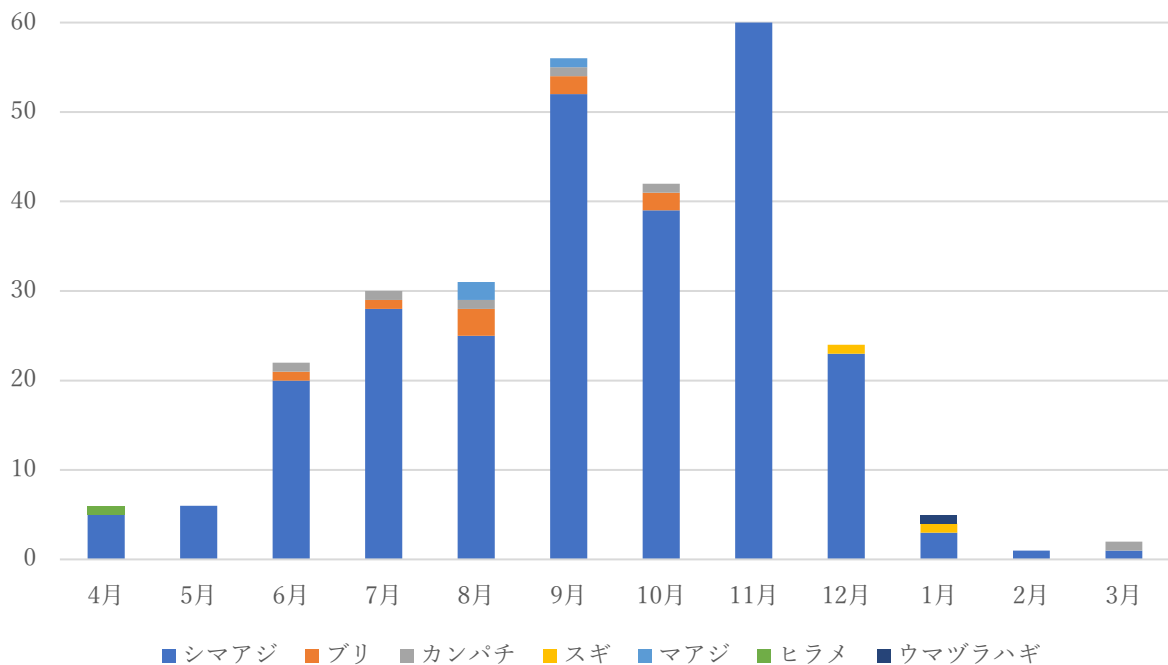
魚種	報告件数
カンパチ	1
シマアジ	1

【参考図表】

○集計表（令和6年度 月別発生報告件数）

		シマアジ	ブリ	カンパチ	スギ	マアジ	ヒラメ	ウマヅラハギ	総計
R6	4月	5					1		6
	5月	6							6
	6月	20	1	1					22
	7月	28	1	1					30
	8月	25	3	1		2			31
	9月	52	2	1		1			56
	10月	39	2	1					42
	11月	60							60
	12月	23			1				24
R7	1月	3			1			1	5
	2月	1							1
	3月	1		1					2
総計		263	9	6	2	3	1	1	285

○集計グラフ（令和6年度 月別発生報告件数）



新たな型と思われる α 溶血性レンサ球菌に関する調査結果（令和6年度）

○発生事業者数等に関する情報

総報告件数	総事業者数	同一魚種にて複数回発生している業者数	複数魚種にて発生している業者数
285	91	46	4

○ワクチンの効果

- ・既承認ワクチンは新型レンサ球菌に対し効果が低い可能性がある。

ワクチン名	使用件数	接種効果		
		高い・効果有	低い・効果無	不明・記載無
I・II型混合（種類不明）	200	0	200 (ブリ、カンパチ、シマアジ)	0
ピシバック注5oil	21	0	9 (ブリ、シマアジ、スギ)	12 (シマアジ)

○抗菌剤の効果

- ・エリスロマイシンでは、シマアジにおいて「低い・効果無」という報告が大多数を占めた。
- ・下表の結果に関わらず、投薬に際してはできる限り薬剤感受性試験を行い、使用する抗菌剤を選択することが推奨される。

抗菌剤名	使用件数	投与効果		
		高い・効果有	低い※・効果無	不明・記載無
エリスロマイシン	257	11 (ブリ、カンパチ、シマアジ)	230 (ブリ、カンパチ、シマアジ、ウマヅラハギ)	16 (ブリ、カンパチ、シマアジ、マアジ)
フロルフェニコール	14	1 (シマアジ)	7 (カンパチ、シマアジ、スギ)	6 (カンパチ、シマアジ)
塩酸ドキシサイクリン	6	5 (カンパチ、シマアジ)	1 (スギ)	0
塩酸リンコマイシン	9	0	3 (カンパチ、シマアジ)	6 (カンパチ、シマアジ)
アルキルトリメチルアンモニウムカルシウムオキシテトラサイクリン	1	0	1 (シマアジ)	0
(参考) 塩酸オキシテトラサイクリン	12	0	6 (カンパチ、シマアジ)	6 (カンパチ、シマアジ)

※ 県への聞き取りによると、

「低い」とは「投与効果は確認されるが、再発までの期間が短い」ことを指す。

新たな型と思われる α 溶血性レンサ球菌に関する調査結果（令和5年度）

【令和5年度における発生状況】

令和5年4月

魚種	報告件数
カンパチ	1
シマアジ	4

5月

魚種	報告件数
カンパチ	1
シマアジ	5
マアジ	1

6月

魚種	報告件数
ブリ	1
カンパチ	1
シマアジ	30

7月

魚種	報告件数
ブリ	3
カンパチ	3
シマアジ	18
スギ（初発生）	1

8月

魚種	報告件数
ブリ	4
カンパチ	1
シマアジ	31
マアジ	1
スギ	1

9月

魚種	報告件数
ブリ	2
シマアジ	45
マサバ（初発生）	1
スギ	1

10月

魚種	報告件数
シマアジ	53
マアジ	1
スギ	2

11月

魚種	報告件数
カンパチ	1
シマアジ	27
マアジ	1

12月

魚種	報告件数
シマアジ	15

令和6年1月

魚種	報告件数
シマアジ	4
スギ	1

2月

魚種	報告件数
カンパチ	2
シマアジ	3
ヒラメ	1

3月

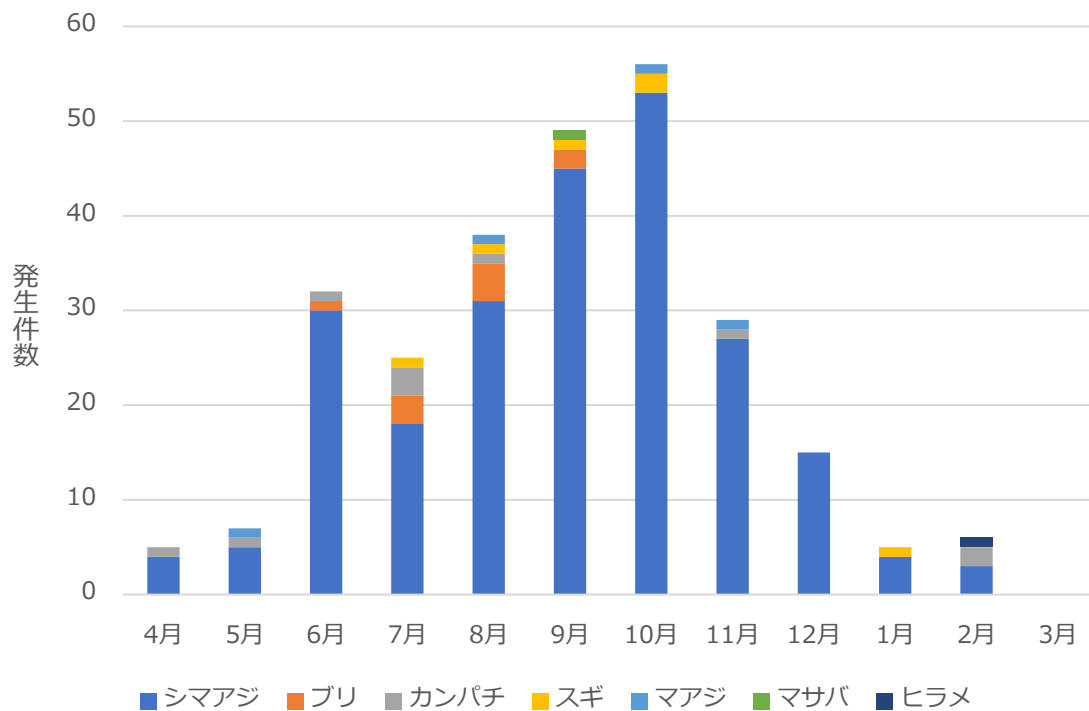
魚種	報告件数
発生報告なし	

【参考図表】

○集計表（令和5年度 月別発生報告件数）

		シマアジ	ブリ	カンパチ	スギ	マアジ	マサバ	ヒラメ	総計
R5	4月	4		1					5
	5月	5		1		1			7
	6月	30	1	1					32
	7月	18	3	3	1				25
	8月	31	4	1	1	1			38
	9月	45	2		1		1		49
	10月	53			2	1			56
	11月	27		1		1			29
	12月	15							15
R6	1月	4			1				5
	2月	3		2				1	6
	3月								0
総計		235	10	10	6	4	1	1	267

○集計グラフ（令和5年度 月別発生報告件数）



新たな型と思われる α 溶血性レンサ球菌に関する調査結果（令和5年度）

○発生事業者数等に関する情報

総報告件数	総事業者数	同一魚種にて複数回発生している業者数	複数魚種にて発生している業者数
267	83	38	8

○ワクチンの効果

- ・既承認ワクチンは新型レンサ球菌に対し効果が低い可能性がある。

ワクチン名	使用報告件数	接種効果		
		高い・効果有	低い・効果無	不明・記載無
I・II型混合（種類不明）	173	0	173	0
ピシバック注5oil	30	1	24	5
ピシバック注レンサ α 2	4	0	3	1
ピシバック注3	2	2	0	0
マリンジェンナービブレン	2	1	1	0
ノルバックス PLV3 種 oil	1	0	0	1

○抗菌剤の効果

- ・エリスロマイシンでは、「効果が高い・効果有」の比率はブリでは88%（7/8件）、シマアジでは8.9%（17/192件）であった。
- ・下表の結果に関わらず、投薬に際してはできる限り薬剤感受性試験を行い、使用する抗菌剤を選択することが推奨される。

抗菌剤名	使用報告件数	投与効果		
		高い・効果有	低い※ ¹ ・効果無	不明・記載無
エリスロマイシン	207	25 (シマアジ17※ ² 、ブリ7※ ³ 、スギ1)	178	4
アルキルトリメチルアンモニウムカルシウムオキシテトラサイクリン	14	0	14	0
フロルフェニコール	12	0	11	1
塩酸リンコマイシン	8	0	8	0
塩酸ドキシサイクリン	5	1 (スギ1)	3	1
(参考) 塩酸オキシテトラサイクリン	14	0	14	0

※1 県への聞き取りによると、「低い」とは「投与効果は確認されるが、再発までの期間が短い」ことを指す。

※2 複数の事業者（12事業者）から報告有り。

※3 複数の事業者（6事業者）から報告有り。

新たな型と思われる α 溶血性レンサ球菌に関する調査結果（令和5年度）

○ワクチン及び抗菌剤の効果（魚種別）

		ブリ			カンパチ			シマアジ			スギ			マサバ			マアジ			計
		高い	低い	不明	高い	低い	不明	高い	低い	不明	高い	低い	不明	高い	低い	不明	高い	低い	不明	
ワクチン	I・II型混合（種類不明）		3			2			167						1					173
	ピシバック注 5oil	1	1	1		1	2		18	2		4								30
	ピシバック注 α 2						1		3											4
	マリンジェンナービブレン							1	1											2
	ピシバック注 3							2												2
	ノルボックス PLV3 種 oil												1							1
ワクチン 計		1	4	1	0	3	3	3	189	2	0	4	1	0	1	0	0	0	0	212
抗菌剤	エリスロマイシン	7	1			1		17	170	5	1	3			1			1		207
	アルキルトリメチルアンモニウム カルシウムオキシテトラサイクリン								14											14
	フロルフェニコール								10	1			1							12
	塩酸リンコマイシン									7								1		8
	塩酸ドキシサイクリン										1	3	1							5
	(参考)塩酸オキシテトラサイクリン								14											14
抗菌剤 計		7	1	0	0	1	0	17	208	13	2	6	2	0	1	0	0	2	0	260

新たな型と思われる α 溶血性レンサ球菌に関する調査結果（令和4年度）
【令和4年度における発生状況】

令和4年5月

魚種	報告件数
カンパチ	1

6月

魚種	報告件数
カンパチ	5
シマアジ	2
ウマツラハギ	2

7月

魚種	報告件数
ブリ	2
カンパチ	2
シマアジ	5

8月

魚種	報告件数
ブリ	8
カンパチ	16
シマアジ	18

9月

魚種	報告件数
ブリ	2
カンパチ	1
シマアジ	21
ヒラメ（初発生）	1
マアジ（初発生）	5

10月

魚種	報告件数
ブリ	1
カンパチ	1
シマアジ	21
マアジ	7

11月

魚種	報告件数
カンパチ	4
シマアジ	9

12月

魚種	報告件数
ブリ	1
シマアジ	7

令和5年1月

魚種	報告件数
カンパチ	2

2月

魚種	報告件数
ブリ	1

3月

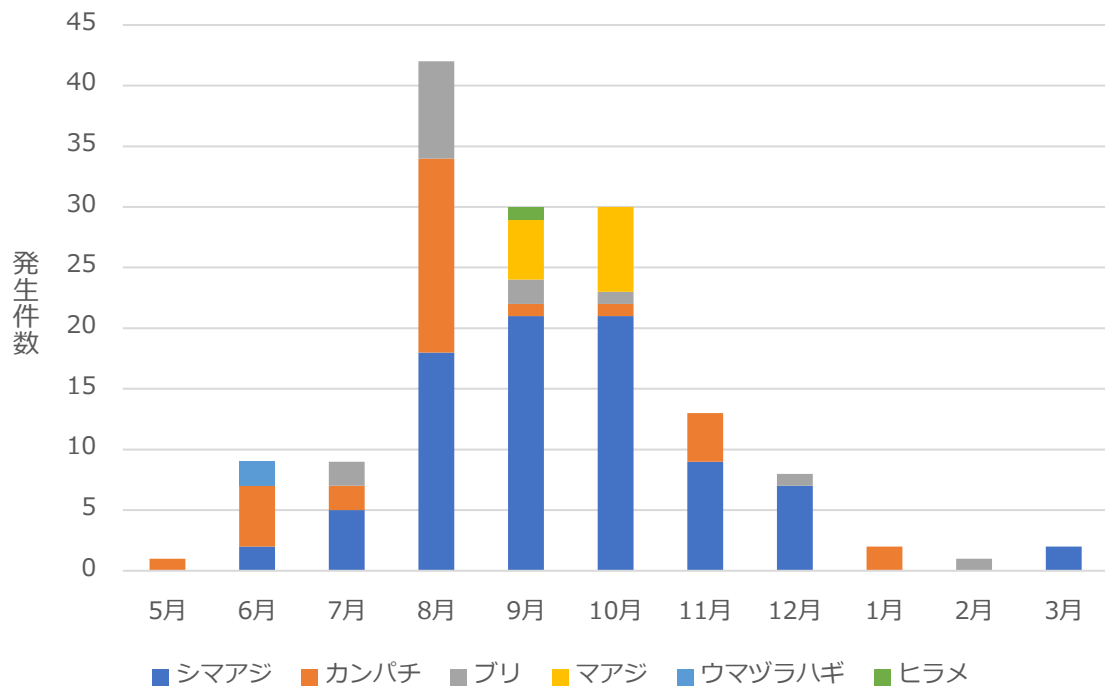
魚種	報告件数
シマアジ	2

【参考図表】

○集計表（令和4年度 月別発生報告件数）

		シマアジ	カンパチ	ブリ	マアジ	ウマヅラハギ	ヒラメ	総計
R4	4月							-
	5月		1					1
	6月	2	5			2		9
	7月	5	2	2				9
	8月	18	16	8				42
	9月	21	1	2	5		1	30
	10月	21	1	1	7			30
	11月	9	4					13
	12月	7		1				8
R5	1月		2					2
	2月			1				1
	3月	2						2
総計		85	32	15	12	2	1	147

○集計グラフ（令和4年度 月別発生報告件数）



新たな型と思われる α 溶血性レンサ球菌に関する調査結果（令和4年度）

○発生事業者数等に関する情報

- ・県への聞き取りによると、他の疾病と比較して、再発までの間隔が短いとの情報がある。
- ・同一業者内で複数魚種に感染が広がった事例が報告されている。

総報告件数	総事業者数	同一魚種にて複数回発生している業者数	複数魚種にて発生している業者数
147	55	31	11

○ワクチンの効果

- ・既承認ワクチンは新型レンサ球菌に対し効果が低い可能性がある。

ワクチン名	使用報告件数	接種効果		
		高い・効果有	低い・効果無	不明・記載無
ピシバック注5oil	47	1	29	17
I・II型混合（種類不明）	28	0	28	0
ピシバック注4	9	0	6	3
ピシバック注レンサ α 2	4	0	4	0
ノルバックス PLV3 種 oil	1	0	1	0
マリンジェンナーイリドビブレン3混	1	0	1	0

○抗菌剤の効果

- ・エリスロマイシンでは、効果が高い場合と低い場合がある。
- ・テトラサイクリン系製剤では、効果が高い場合と低い場合がある。
- ・都道府県以外の機関による薬剤感受性試験の結果から、リンコマイシン耐性菌が多く報告されている。
- ・以上から、できる限り薬剤感受性試験を行い、使用する抗菌剤を選択することが推奨される。

抗菌剤名	使用報告件数	投与効果		
		高い・効果有	低い※・効果無	不明・記載無
エリスロマイシン	124	29	65	30
塩酸ドキシサイクリン	6	6	0	0
アルキルトリメチルアンモニウム カルシウムオキシテトラサイクリン	1	0	1	0
（参考）塩酸オキシテトラサイクリン	16	0	11	5

※県への聞き取りによると、「低い」とは「投与効果は確認されるが、再発までの期間が短い」ことを指す。

抗菌剤名	効果持続期間
エリスロマイシン	4～60日（報告が多いのは10日）
塩酸ドキシサイクリン	18日
（参考）塩酸オキシテトラサイクリン	2～7日（報告が多いのは7日）

新たな型と思われる α 溶血性レンサ球菌に関する調査結果（令和4年度）

○ワクチン及び抗菌剤の効果（魚種別）

		ブリ			カンパチ			シマアジ			マアジ			ウマヅラハギ			計
		高い	低い	不明	高い	低い	不明	高い	低い	不明	高い	低い	不明	高い	低い	不明	
ワクチン	ピシバック注 5oil	1	7	4		14	5		8	8							47
	I・II型混合（種類不明）					3			25								28
	ピシバック注 4		1	2		4	1		1								9
	ピシバック注 α 2					3			1								4
	マリンジェンナーイリドビブレン					1											1
	ノルバックス PLV3 種 oil								1								1
ワクチン 計		1	8	6	0	25	6	0	36	8	0	0	0	0	0	0	90
抗菌剤	エリスロマイシン	9		3	6	11	3	14	44	22		10	2				124
	塩酸ドキシサイクリン	4			2												6
	アルキルトリメチルアンモニウム カルシウムオキシテトラサイクリン								1								1
	(参考)塩酸オキシテトラサイクリン			1					8	1		3	2			1	16
抗菌剤 計		13	0	4	8	11	3	14	53	23	0	13	4	0	0	1	147